

回答書

2023-2025年度課題別研修「救急救助技術」研修委託業務（企画競争）

（公告/公示日：2023年6月9日／調達管理番号：23c00346000000）に係る質問について、以下のとおり回答いたします。

通番	該当頁	該当項目	質問	回答
1	p13	第2-1業務の内容・目的に関する事項 6(1)	研修開始前の事前活動について、「研修参加者は所属組織の課題・改善案を事前レポートにまとめる」とあるが、改善案は研修での学びを通して立案するものであると認識している。本年度については改善案の記載も事前レポートに含むという理解でよいか。	来日研修開始前において想定できる課題とその改善案を検討し、来日研修を通してそれら案を検証・ブラッシュアップすることで研修効果の引き上げを狙っていますので、ご理解のとおりです。
2	p13,p15	第2-1業務の内容・目的に関する事項 6(1),10(4)	研修開始前の事前活動、研修終了後の事後活動について、カリキュラム（案）には発表会の記載がないが、事前レポートは来日前、人材育成普及プランは帰国後にそれぞれオンラインで発表するという前提で日程表を作成してよいか。また、人材育成普及プラン発表会の実施日を研修最終日とみなし、報告書等の締切もこれを基準に考えてもよいか。	ご記載の通り、事前レポート発表は来日前に、人材育成プランの発表は帰国後すぐオンラインで行うことを予定しています。業務完了報告書等の締め切り日については、人材育成プランの発表最終日を技術研修終了日としてください。
3	p13,p15	第2-1業務の内容・目的に関する事項 9(2), 10(4)	演習／実習の扱いについて、「これらを通して講義で学んだ内容を研修員が確認するとともに応用力を養う」とあるが、カリキュラム（案）から、本研修におけるプログラムは実習が核であり、講義の内容を実習で応用するのではなく、実習で得られない知識を講義で補完するものと理解する。カリキュラム（案）を元にカリキュラム編成方針を作成してよいか。	本研修では演習/実習項目を主軸としていますが、事前に行う講義を通じて知識の習得を図り、それを演習/実習を通じて身につけていくことを想定しています。またご理解のとおり演習/実習では得られない知識についても講義で補完することも想定しています。 なお、研修実施先である大阪市消防局のカリキュラム案を大幅に修正する必要性は低いと考えていますが、カリキュラムの編成方針については、プロポーザルでご提案頂くことで支障ありません。
4	p14	第2-1業務の内容・目的に関する事項 9※	事前レポート、人材育成普及プランの発表会に際し、研修実施先に指定されている大阪市消防局へ日本語訳を提出する必要がある。この翻訳業務は貴機構または研修監理員の業務に含まれると考えてよいか。	ご記載の翻訳業務については、弊機構が手配する翻訳会社による翻訳や、研修監理員に依頼し、対応することが可能です。
5	p14	第2-1業務の内容・目的に関する事項 10(2)	実施日は「来日翌営業日の午後」と指定されているが、同日午前の実施も可能か。	研修の構成について研修員に理解してもらうことを目的に、JICA職員によるプログラムオリエンテーションののちにコースオリエンテーションを実施する流れを想定し、「来日翌営業日の午後」としていましたが、同日午前の実施も可能です。また、プログラムオリエンテーション・コースオリエンテーションを来日前の遠隔セッションとして行うことも可能ですので、プロポーザルでご提案ください。